

KINO 徒然通信

2025. 7

みなさまへ

暑い日々が続きますがいかがお過ごしでしょうか。

ムービーラインナップ150号は夏から初秋にかけてのご案内です。

7月11日から驚異の3作品登場、ステーヴン・キングが巧妙な傑作と太鼓判の『ストレンジ・ダーリン』。「この映画は6部構成」という字幕で始まり、はじまりは第3部から！『顔を捨てた男』では理想の自分を手に入れたはずが究極の不条理劇に。そして「コーダあいのうた」のスタッフチームの最新作は、天才高校生が世界を欺く前代未聞のカニング計画『バッド・ジーニアス』。リアルな格差社会で人生を切り開くヒロインのスリリングなラストシーンに熱い拍手を！

この夏イタリア映画が素敵です。イタリア文学最高峰のストレーガ賞受賞チーザレ・パヴェーゼの名作の映画化『美しい夏』。戦争の影が迫る中、お針子として働く16歳の少女が出会ったのは自由奔放に生きる3つ年上の女性。青春の輝きと残酷さが繊細な感情として描かれる瑞々しい作品です。そしてソレンティーノ最新作であり集大成といっても過言ではない『パルテノペ』。息をのむほどの美しさ、故郷ナポリへの愛、青春の輝きと愛の孤独、壮大な映像美で描かれた人生への探求…圧巻です。

ジム・ジャームッシュやアキ・カウリスマキ作品が大好きなあなたにおすすめです。コミカルなオフビート感が甘くてほろ苦い『フォーチュン・クッキー』。どうしようもなく幸せになりたい、と願いクッキーにしのばせた特別なメッセージ。辛い人生だからこそ少しの笑いをまぶすとより心にしみてくる、そんなささやかな未来への希望のお話です。「あなたは幸せを追わず創る人」そんなメッセージが入っていたら、きつとなにかのはじまりですね。あなたもおまじないメッセージ作ってみませんか…？

こちらはとても元気な子どもたちのお話。10歳の少年ユイシは小4。両親と3人暮らしで、お腹がすいたらご飯を食べる、いたって普通の男の子。最近気になっている女の子がいて、その子は環境問題に意識的で大人にも臆せず声をあげる。ユイシは少しでも近づこうと頑張るのですが…子供たちが始めた環境活動？は思わぬ方向へ。なんだか見ていて楽しくなってきます。平和なようで事件だらけの毎日に体当たりする子供たちに感動です。『ふつうの子ども』(9月13日公開)。いつだって、世界は「好き」でまわってる。いい言葉です。呉美保監督、8月24日先行特別上映の予定です。

7月4日シアターキノは33歳になりました。33周年記念Tシャツコンテストではたくさんのご応募をいただきまして大変ありがとうございました。グランプリ2作品のTシャツを8月1日発売予定。詳しくはHPニュースを。今年は戦後80年特集上映を、そして「遠い山なみの光」へとつながってゆきます。まだまだご紹介したいことがいっぱいですが、これからも世界中の様々な映画たちとの出会いがささやかな人生の一歩となりますように。

シアターキノ支配人 中島ひろみ